



県最優秀賞に選ばれた佐々木香織さん（写真左、右は作品）

大切な一票への思い描く

明るい選挙啓発ポスターコンクール入賞

22年度明るい選挙啓発ポスターコンクールの表彰式は昨年12月27日、岩手県庁で行われ、佐々木香織さん（平舘高校2年）が高校の部で最優秀賞を受賞しました。

佐々木さんは「未来を担う子どもたちのために、大切な一票で日本を良くして欲しいという願いを込めて描きました」と作品について語りました。

なお、同コンクールでは、藤森夏美さんと渡辺翔さん（ともに平舘高校2年）が高校の部、熊谷美祐さん（東大更小5年）が小学校の部で優秀賞を受賞しました。

入社からの努力たたえる

永年勤続優良従業員等表彰式

市商工会（高橋富一会長）の22年度永年勤続優良従業員等表彰式は1月7日、いこいの村岩手で開かれました。永年勤続優良従業員や商工会役員功労者など長い間業務に励むなどの功績をたたえ、21人と2事業所、1団体が表彰されました。

また、表彰式の前には、新春講演会も行われ、前知事の増田寛也野村総合研究所顧問が「観光と農業振興による地域づくり」と題し、地域資源を生かした地域振興について紹介しました。



長年の業務功績をたたえ表彰を受ける田村悟さん（髙遠忠、写真左）



除雪作業を行う安代地区スノーバスターズの隊員たち

雪かき助っ人ただ今参上

安代地区スノーバスターズ活動開始

ひとり暮らしの老人などが冬期間に安心して過ごせるよう、家のまわりの除雪を行う安代地区スノーバスターズの活動出発式は1月9日、安代福祉センターで行われ、今シーズンの活動を開始しました。

この日は、安代中学校（山本京助校長、生徒103人）の先生、生徒を含む54人と隊員約20人が参加。3つの班に分かれ、雪かきに汗を流しました。スノーバスターズは、3月までの毎週日曜日に出動し、地区内27世帯の除雪作業に取り組みます。



冷え込みの中、時折吹く強風に耐えながら、参加者は歩を進めました

無病息災や五穀豊穡祈る

市指定無形民俗文化財・平笠裸参り

市指定無形民俗文化財の平笠裸参り（伊藤信也保存会長）は1月8日、平笠の宮田神社を出発点に行われました。

1732（享保17）年の岩手山の噴火を恐れた村人たちが、山の神を鎮めようと始めたと言われるこの行事。戦争中に出征した夫や息子の無事を祈る女性たちに受け継がれたことから、全国でも珍しい女性が中心の裸参りとなっています。

女性16人を含む29人の参加者は、白装束姿に駿竿を掲げ、無病息災や五穀豊穡を祈願しながら大更の八坂神社までの約10㌾を約5時間かけて練り歩きました。



出発地点の平笠・宮田神社で裸参りが無事終わることを祈る参加者



大きさ、形、色。さまざまなお椀が並びました

漆器の魅力を汁椀で知る

安比塗漆器工房「汁椀 ことはじめ展」

安比塗漆器工房の企画展「汁椀 ことはじめ展」は昨年12月23日から1月16日まで、同工房で開かれました。

工房内に並んだ約60点の作品は、8人の作家が出品したもの。色は、オーソドックスな朱や黒の漆のほか、拭き漆、模様が描かれたものなどさまざま、形や大きさも表面に段を付けて持ちやすくしたものなど多彩な汁椀が提案されました。同工房の島川千世さんは「漆器の魅力を知るにはまずは汁椀から。ぜひ暮らしの中に漆器を取り入れてほしい」と話していました。

すなっぷギャラリー



防災とボランティア週間・防災意識啓発活動（1月16日、マックスパリュ西根店前）



みずき団子づくり（1月14日、あしろ保育所）



市建設協同組合・各種スキー大会へ協賛金寄付（1月5日、市役所）



自衛隊の協力による矢神飛躍台整備（1月5日、矢神飛躍台）



道の駅にしね・HAPPY八幡平コラボ企画「HAPPYBOX」販売（1月4日、道の駅にしね）



江戸時代に岩手山噴火の沈静化を願い始めたといわれる同裸参り

寒風に負けず願い込める

寄木天照皇大神宮・裸参り

松尾寄木地域に伝わる小正月の伝統行事、寄木天照皇大神宮の裸参りは1月16日、同地域で行われました。保存会では、伝統を継承するために、松尾地区公民館北寄木、新田、南寄木の3分館を持ち回りで出発点にしています。今年は、女性19人や子どもを含む24人の参加者が北寄木分館を出発。白装束を身にまとい「はさみ」と呼ばれる竿を手に、もう一方の手で鈴を鳴らしながら、家内安全などを祈願し、約1.5km先の天照皇大神宮を目指し、力強く歩を進めました。

新しい市の特産品に期待

にんにく・ふきのとう品種名発表会

にんにく・ふきのとう品種名発表会は1月18日、岩手山焼走り国際交流村で開かれました。50点を超える応募の結果、在来種の八幡平系より大きく、薄皮が紫色のにんにくは、遠藤光さん(中村)の「八幡平バイオレット」、つばみを包む苞の数が多く、苦味の少ないふきのとうは、高橋スミさん(寄木新田)の「マイルドばっけ」が選ばれました。

いずれの品種も遠藤時彌さん(75歳、田頭)が10年以上前から、市内の在来種から選抜し、育成し続けてきたもの。現在、農林水産省に品種登録を出願しています。遠藤光明八幡平山菜栽培研究会会長は「これから栽培面積を拡大し、販売に結び付けたい」と意欲を見せていました。

市の新たな特産品として期待が掛かる「八幡平バイオレット」(右)



八幡平牛のステーキには順番待ちの行列ができていました

豊かな八幡平の食材堪能

大地の恵みを味わう会2011

「おいしいブランド八幡平 大地の恵みを味わう会2011」(八幡平産業振興株など主催)は1月21日、盛岡グランドホテルで開かれました。

寒締めホウレンソウや八幡平牛などを使った料理やそば打ちの実演コーナー、わしの尾、ヤマブドウワインが並び、市内外からの参加者760人は、豊かな八幡平の食材を堪能しました。羽沢咲子さん(秋葉)は「初めて食べたものもあり、八幡平市の自慢できる食材を知る良い機会になりました」と満足していました。

飛ぶ感覚に楽しく触れる

ジャンプ体験教室

ジャンプ体験教室(県スキー連盟主催)は1月9日、八幡平リゾートパノラマスキー場で開かれました。市内と盛岡市の小学生11人が挑戦。同連盟ジャンプ部のスタッフからアプローチを滑る姿勢や踏み切り方の指導を受け、スキー場内に造られたアプローチ、踏み切り台、ランディングバーンがある特設の小型ジャンプ台を飛び出しました。参加者の中には飛ぶたびに飛距離を伸ばす人もいて、ジャンプ選手が味わう「飛ぶ感覚」に触れました。



スピードに乗りジャンプ台から飛び出す参加者

地域の安全の決意新たに

市防犯隊・交通指導隊合同初点検

市防犯隊(遠藤義明隊長、隊員45人)と市交通指導隊(高橋忠一隊長、隊員32人)の合同初点検は1月9日、西根地区体育館で行われました。

防犯隊員23人、交通指導隊員25人が出動。田村正彦市長が「この一年の地域の安心安全を確保するため、決意を新たにし、隊員の取り組みに期待します」と訓示しました。遠藤防犯隊長は「犯罪防止や青少年の健全育成と交通安全に努め、安心して暮らせるまちづくりに隊員一同努めます」と決意を述べました。



田村市長らから観閲を受けた隊員は地域の安全へ士気を高めました

地域で支え合う心新たに

市ボランティアの集い

市ボランティアの集い(市社会福祉協議会主催)は1月13日、西根地区市民センターで開かれました。

市内のボランティア登録者、団体など約180人が参加。ボランティア協力校代表の田山小学校や西根、松尾、安代各地区の代表者がそれぞれの活動事例を発表しました。また、県社会福祉協議会の田山俊悦さんが「みんなで理解・みんなで安心」と題して講演。参加者はボランティア活動を通して、支え合う地域づくりの実現へ決意を新たにしました。



田山さんの認知症についての講演に参加者は耳を傾けました

すなっぷギャラリー



県民体育大会(スキー)・遠藤秀治選手
(1月22日、矢神飛躍台)



県中学校スキー大会・畠山睦美選手
(1月16日、安比高原スキー場)



県高等学校スキー大会・畑中啓夢選手
(1月15日、田山クロスカントリーコース)



北東北学童ジャンプ大会・小林龍尚選手
(1月10日、矢神飛躍台)



田山クロスカントリー大会・八幡優花選手
(1月8日、田山クロスカントリーコース)